

# 学校におけるタブレット端末の活用について

## 1. AI 型ドリルの導入

### (1) AI 型ドリルの特徴

- ①AI が苦手な学習要素や誤答を分析
- ②一人ひとりの理解度や能力に合った問題を自動で出題
- ③クラウド上で操作（場所や時間を問わずに利用できる・データ共有が容易）
- ④学習履歴の保存（学習履歴をもとにした授業の改善）

### (2) 導入時期 令和 4 年 5 月

### (3) 対 象 小学 1 年生～中学 3 年生

### (4) 期待される効果

- ①基礎的・基本的な「知識」「技能」の習得
- ②授業以外（放課後・家庭）での学習の習慣化
- ③臨時休業や学校に通うことが困難な児童生徒に対する学びの保障
- ④教員の働き方改革への一助（採点・評価記録の自動化）
- ⑤令和の日本型学校教育が目指す「個別最適な学び」の実現

## 2. Google Workspace for Education の導入

### (1) Google Workspace for Education とは

- ①Google が開発した教育機関向けソリューション
- ②日本で最も使われている ICT 教育サービス
- ③教育格差是正のため無償で提供されている

### (2) Google Workspace for Education でできること

#### 《教員ができること》

- ①課題提出・情報共有が容易にできるようになる
- ②教材準備がどこでもできるようになる
- ③児童生徒とオンラインコミュニケーションができるようになる
- ④児童生徒の独創的な活動を支援できるようになる
- ⑤提出物への評価・指導をオンラインでできるようになる

#### 《保護者ができること》

- ①学校からのアンケートにオンラインで回答できるようになる
- ②学校からの連絡事項をオンラインで確認できるようになる
- ③保護者会や個人面談をビデオ通話でできるようになる

## 《参考》

### 1. 第二小学校について

創立年月日：1925年9月1日

児童数等：446名・14学級（令和4年8月1日時点）

### 2. 本市における情報機器等整備状況

《令和2年度（小・中学校）》

- (1) 児童生徒用タブレット端末整備 3,531台（小学校：2,299台、中学校：1,232台）
- (2) 家庭学習用モバイルWi-Fiルーター 860台（小学校：513台、中学校：347台）
- (3) オンライン学習配信用カメラ・スピーカフォン 143台（小学校：94台、中学校：49台）

※ 上記機器整備のほか、通信速度の向上を図るための整備を実施（校内LAN工事）

《令和3年度（小・中学校）》

- (1) 教員用タブレット端末整備 251台
- (2) 大型提示装置（55インチ）整備 69台

※ 上記機器整備のほか、通信速度の更なる向上を図るための整備を実施（ローカルブレイクアウト工事）

### 3. ICT支援員の配置

校内にICT機器が増えたことで、操作の習得やICTを活用した授業改善など、新たな業務が発生しましたが、これら業務の多くを教員が負担しています。

負担解消を図るため、委託契約を締結し、令和3年度からICT支援員を配置しています。

※令和4年度における配置人数：2人